

# 我が国の産業活動の動向

2024年10-12月期

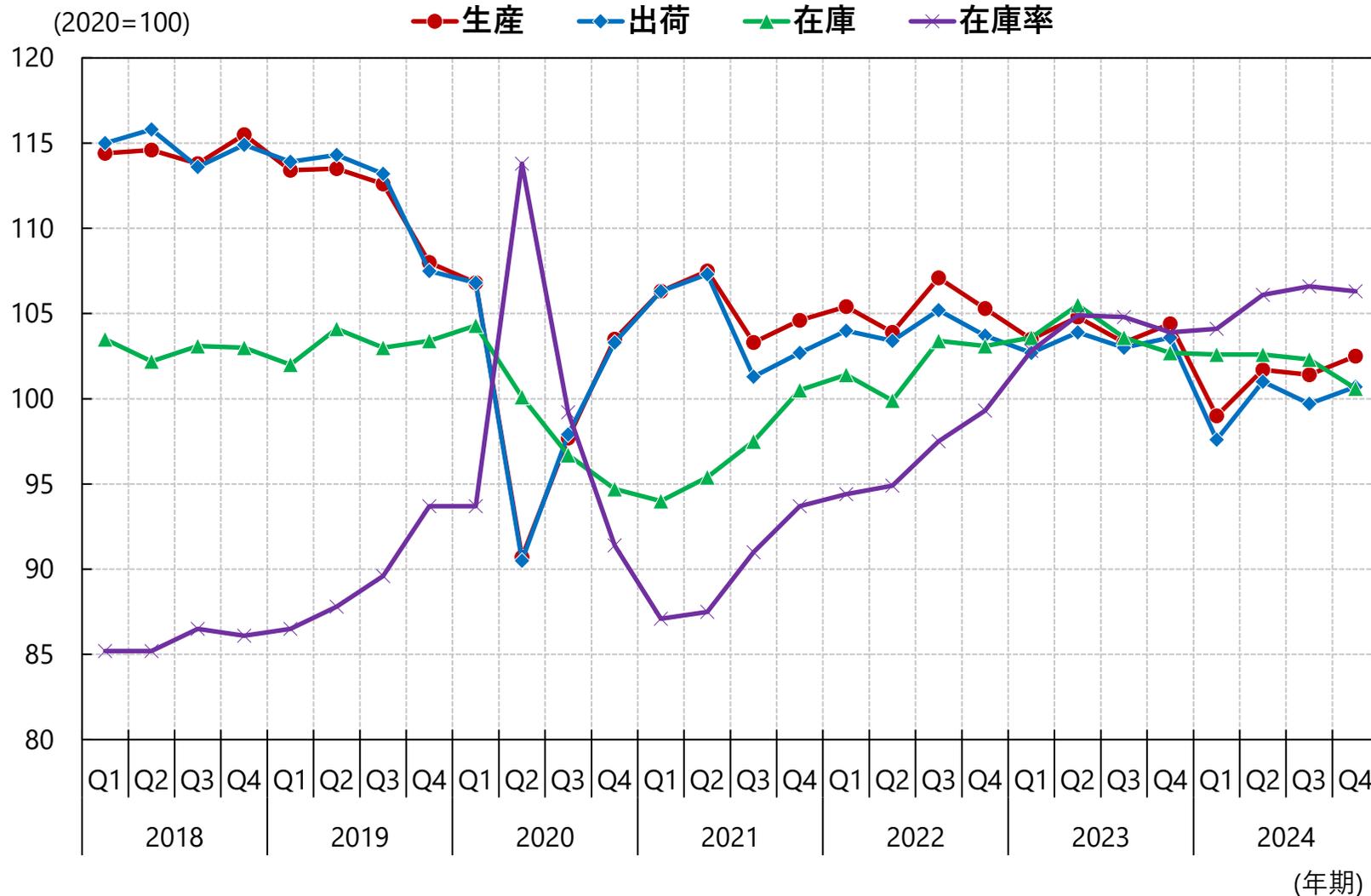
2025年2月20日

経済産業省 調査統計グループ 経済解析室

# 鉦工業活動の動向

# 鈇工業生産・出荷・在庫・在庫率の動向

## 【鈇工業生産・出荷・在庫・在庫率指数の推移】



2024年10-12月期

前期比(%)

生産	1.1
出荷	1.0
在庫	-1.7
在庫率	-0.3

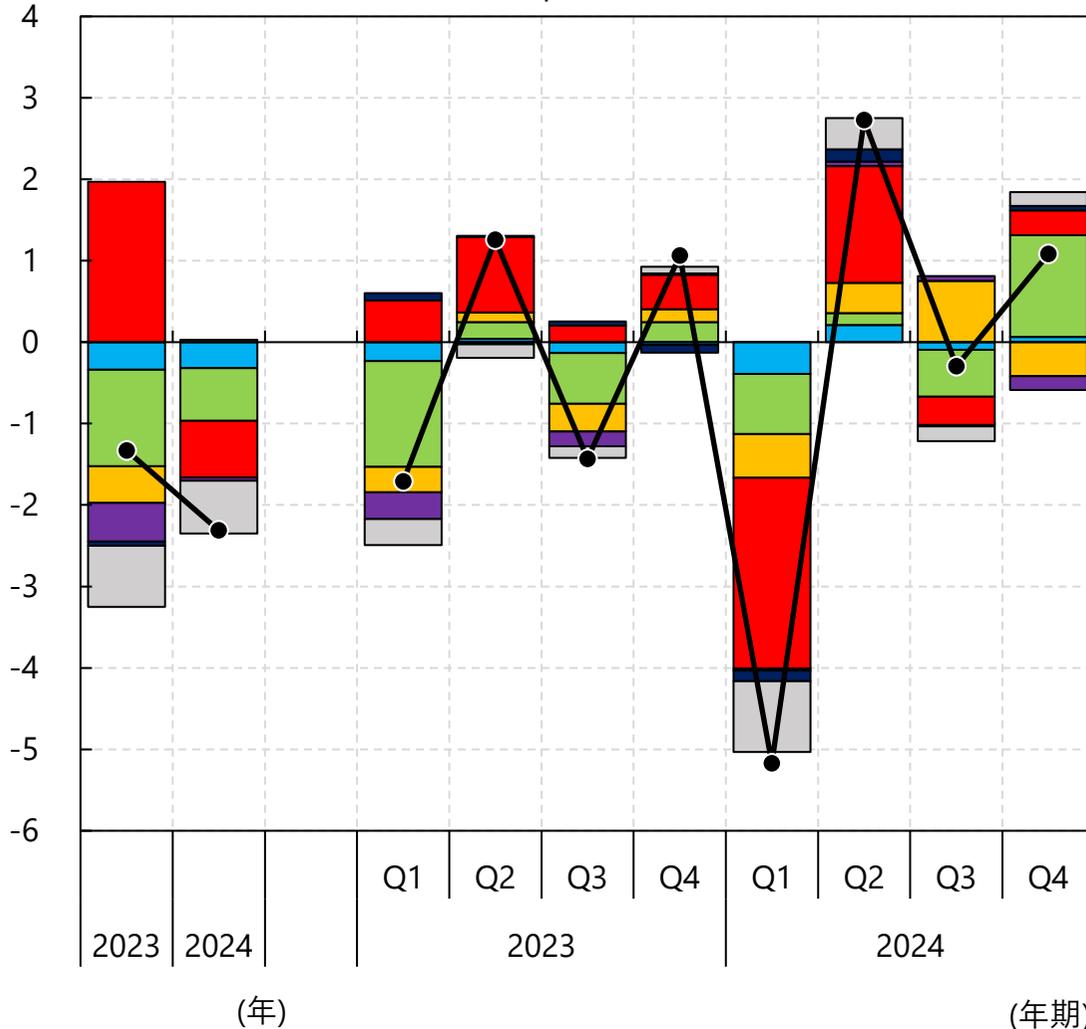
資料：経済産業省「鈇工業指数」

注:季節調整済指数

# 鋳工業生産の業種別変動要因

## 【鋳工業生産の業種別変動要因分解】

(前年比寄与度／前期比寄与度、%p)



### ● 鋳工業

- 自動車工業、輸送機械工業 (除. 自動車工業)
- 生産用機械工業、汎用・業務用機械工業
- 電子部品・デバイス工業、電気・情報通信機械工業
- 鉄鋼・非鉄金属工業、金属製品工業
- 無機・有機化学工業、化学工業 (除. 無機・有機化学工業)
- 食品・たばこ工業
- その他※

※窯業・土石製品工業、石油・石炭製品工業、プラスチック製品工業、パルプ・紙・紙加工品工業  
その他工業、鋳業が含まれる。

### 2024年10-12月期 上昇／低下に寄与した業種

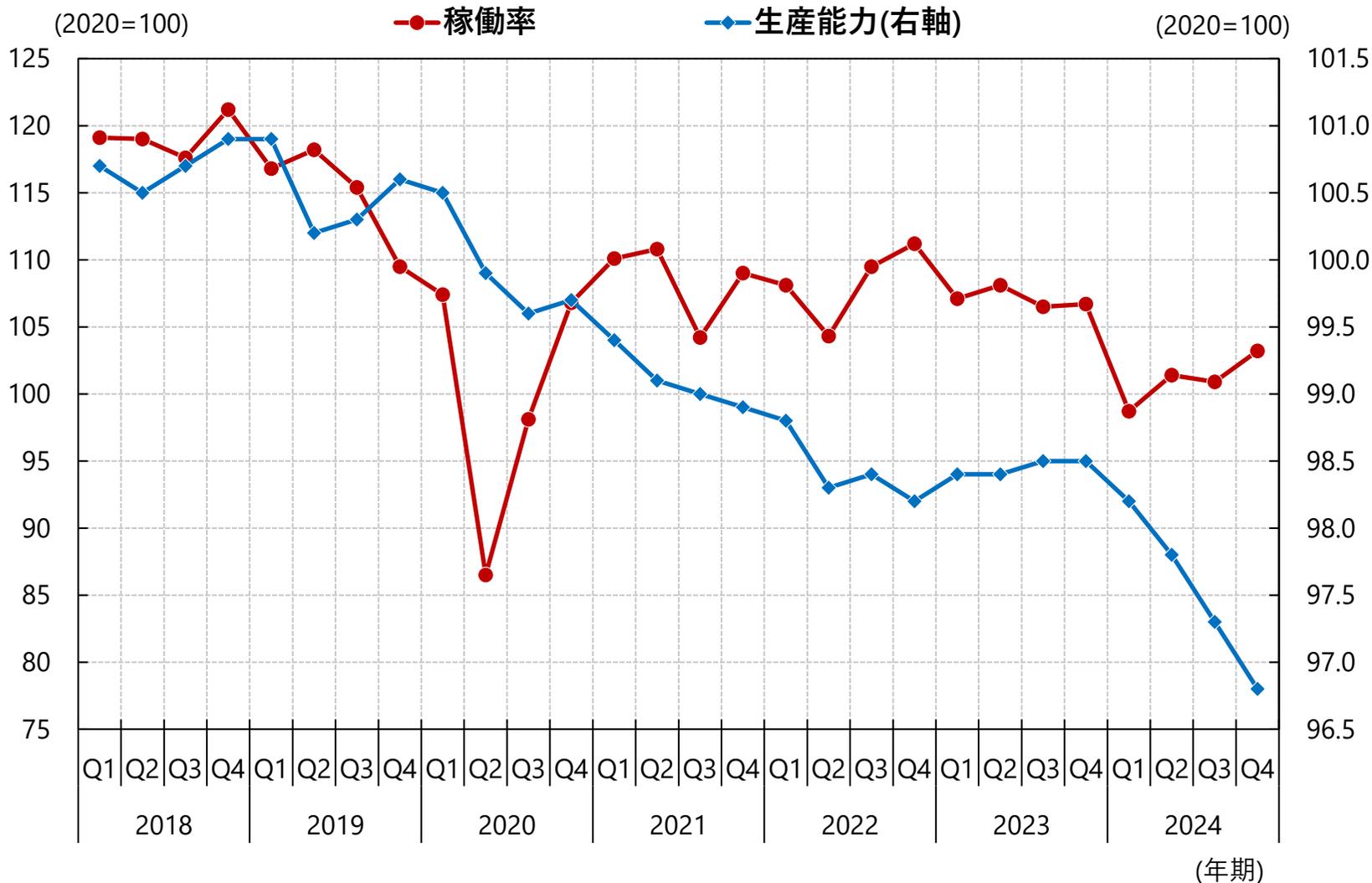
上昇に寄与した業種	1位	生産用機械工業
	2位	自動車工業
	3位	汎用・業務用機械工業
低下に寄与した業種	1位	電子部品・デバイス工業
	2位	化学工業 (除. 無機・有機化学工業)
	3位	輸送機械工業 (除. 自動車工業)

資料：経済産業省「鋳工業指数」

注:年は原指数、四半期は季節調整済指数により作成。季節調整済指数については、鋳工業全体と業種ごとの寄与度の合計は必ずしも一致しない。

# 製造工業生産能力・稼働率の動向

## 【製造工業生産能力・稼働率指数の推移】



2024年10-12月期

前期比(%)

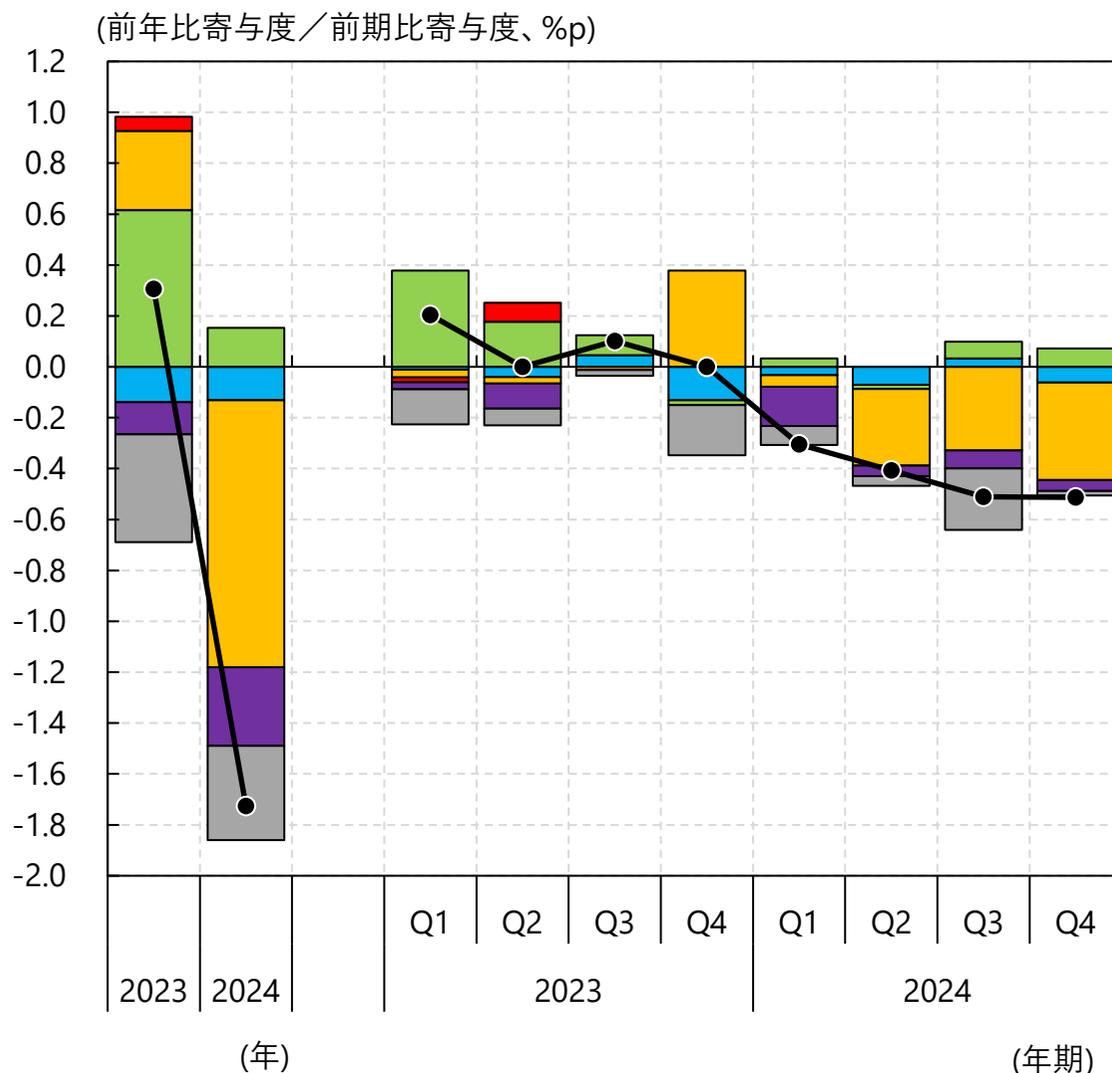
生産能力	-0.5
稼働率	2.3

資料：経済産業省「製造工業生産能力・稼働率指数」

注：生産能力指数は原指数、稼働率指数は季節調整済指数

# 製造工業生産能力の業種別変動要因

## 【製造工業生産能力の業種別変動要因分解】



- 製造工業
  - 輸送機械工業
  - 生産用機械工業、汎用・業務用機械工業
  - 電子部品・デバイス工業、電気・情報通信機械工業
  - 鉄鋼・非鉄金属工業、金属製品工業
  - 化学工業
  - その他※
- ※窯業・土石製品工業、石油・石炭製品工業、パルプ・紙・紙加工品工業、その他工業が含まれる。

### 2024年10-12月期 上昇／低下に寄与した業種

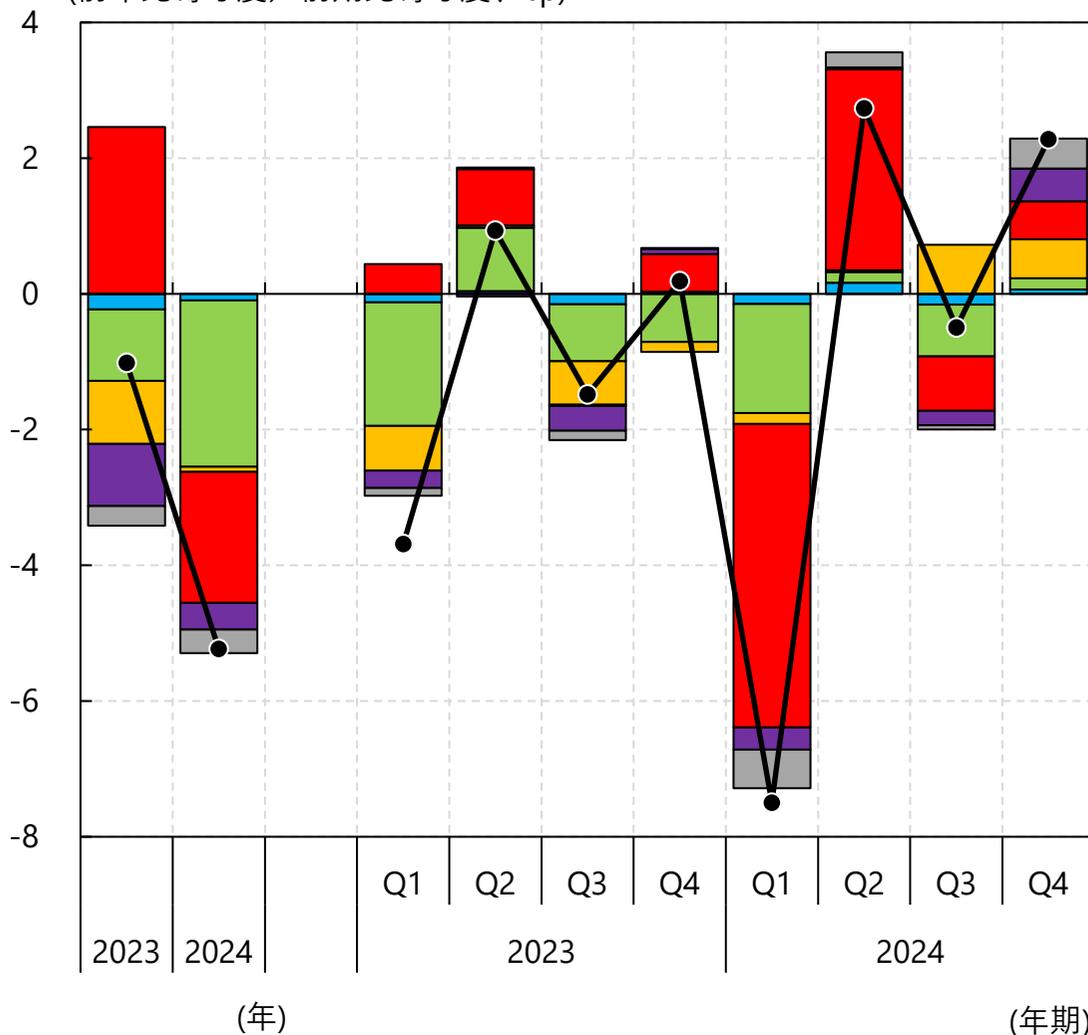
上昇に寄与した業種	1位	電気・情報通信機械工業
	2位	生産用機械工業
	3位	その他工業
低下に寄与した業種	1位	電子部品・デバイス工業
	2位	鉄鋼・非鉄金属工業
	3位	化学工業

資料：経済産業省「製造工業生産能力・稼働率指数」  
注：年、四半期ともに期末値の原指数。

# 製造工業稼働率の業種別変動要因

## 【製造工業稼働率の業種別変動要因分解】

(前年比寄与度／前期比寄与度、%p)



- 製造工業
- 輸送機械工業
- 生産用機械工業、汎用・業務用機械工業
- 電子部品・デバイス工業、電気・情報通信機械工業
- 鉄鋼・非鉄金属工業、金属製品工業
- 化学工業
- その他※

※窯業・土石製品工業、石油・石炭製品工業、  
パルプ・紙・紙加工品工業、その他工業が含まれる。

### 2024年10-12月期 上昇／低下に寄与した業種

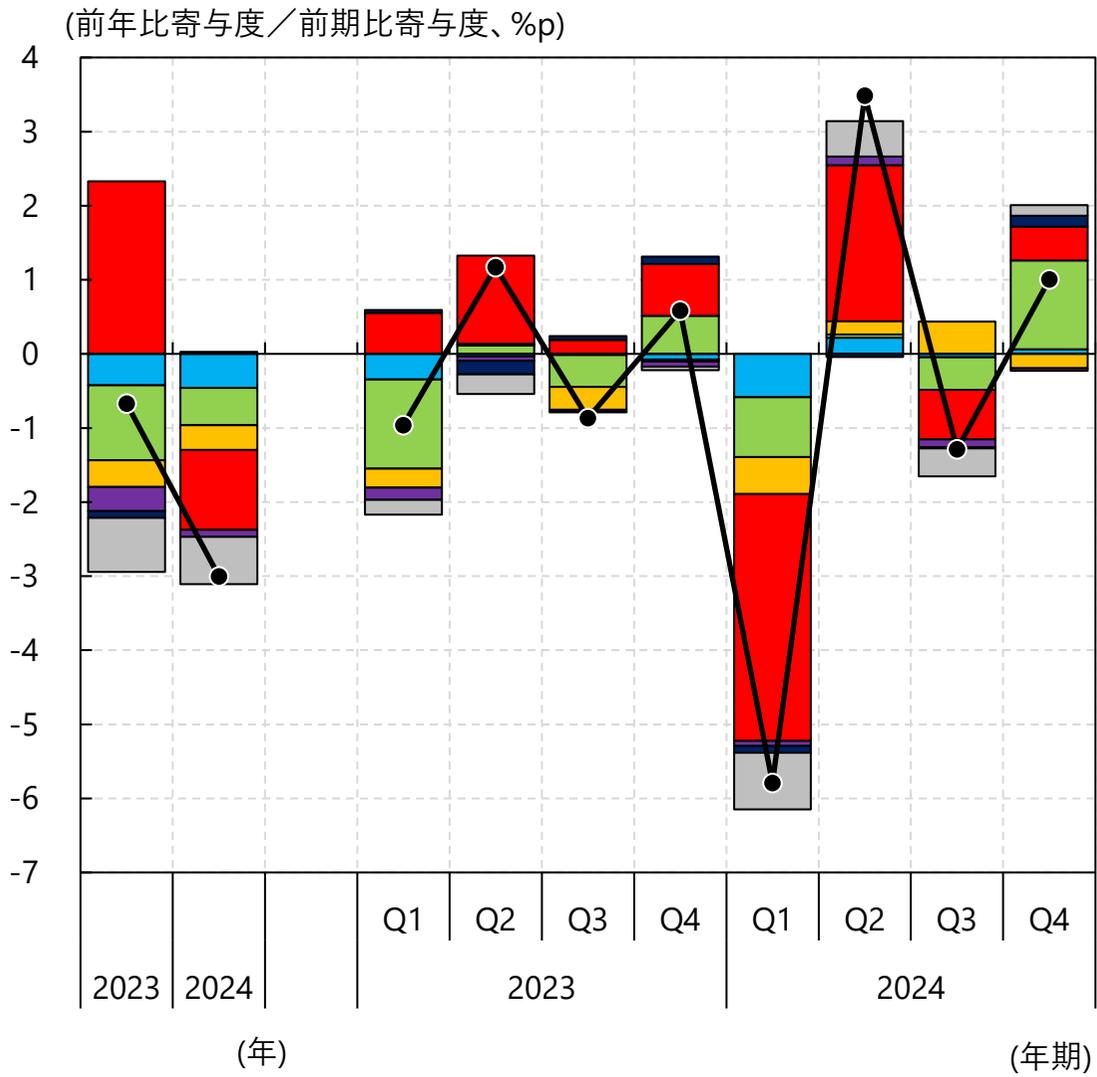
上昇に寄与した業種	1位	輸送機械工業
	2位	化学工業
	3位	電気・情報通信機械工業
低下に寄与した業種	1位	その他工業
	2位	生産用機械工業
	3位	鉄鋼・非鉄金属工業

資料：経済産業省「製造工業生産能力・稼働率指数」

注:年は原指数、四半期は季節調整済指数により作成。季節調整済指数については、製造工業全体と業種ごとの寄与度の合計は必ずしも一致しない。

# 鋳工業出荷の業種別変動要因

## 【鋳工業出荷の業種別変動要因分解】



- 鋳工業
- 自動車工業、輸送機械工業 (除、自動車工業)
- 生産用機械工業、汎用・業務用機械工業
- 電子部品・デバイス工業、電気・情報通信機械工業
- 鉄鋼・非鉄金属工業、金属製品工業
- 無機・有機化学工業、化学工業 (除、無機・有機化学工業)
- 食料品・たばこ工業
- その他※

※窯業・土石製品工業、石油・石炭製品工業、プラスチック製品工業、パルプ・紙・紙加工品工業  
その他工業、鋳業が含まれる。

### 2024年10-12月期 上昇／低下に寄与した業種

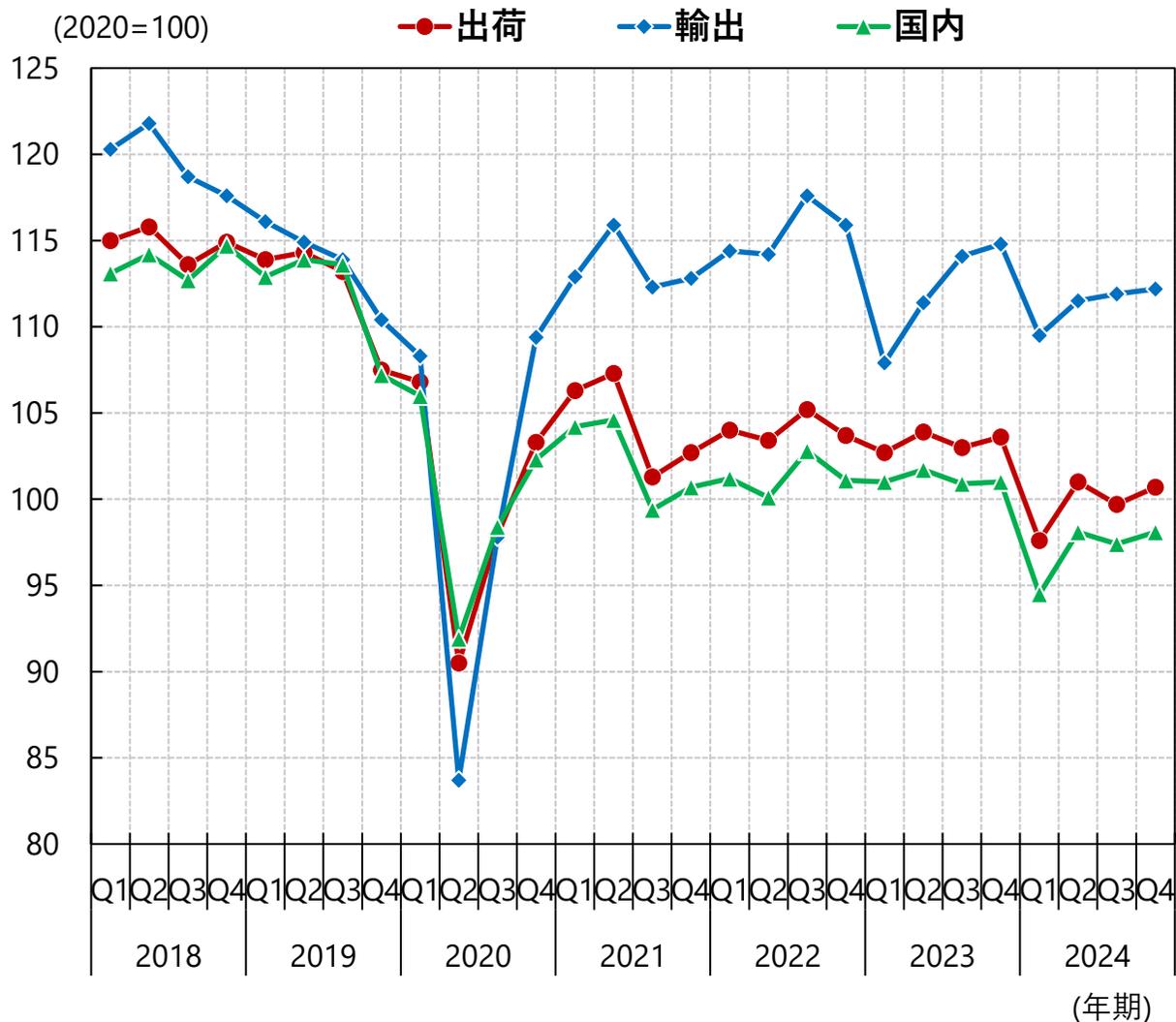
上昇に寄与した業種	1位	生産用機械工業
	2位	自動車工業
	3位	電気・情報通信機械工業
低下に寄与した業種	1位	電子部品・デバイス工業
	2位	輸送機械工業 (除、自動車工業)
	3位	化学工業 (除、無機・有機化学工業)

資料：経済産業省「鋳工業指数」

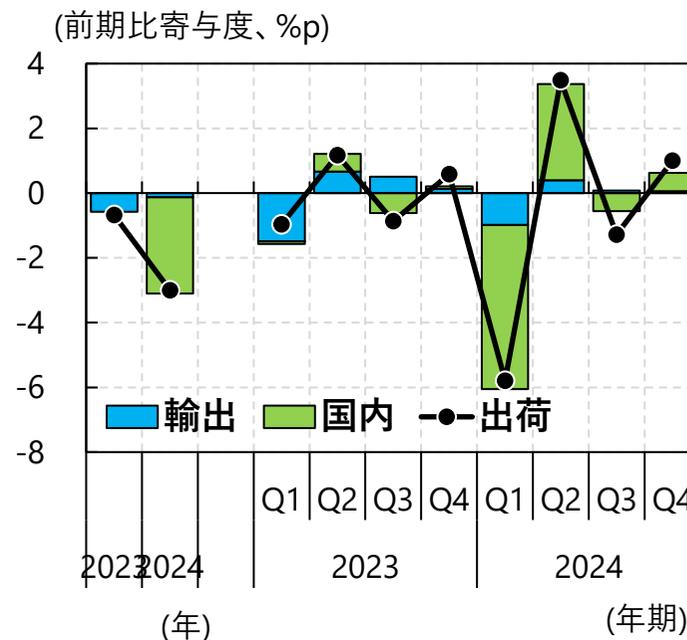
注:年は原指数、四半期は季節調整済指数により作成。季節調整済指数については、鋳工業全体と業種ごとの寄与度の合計は必ずしも一致しない。

# 輸出／国内向け別にみた鋳工業出荷の動向

## 【輸出／国内向け鋳工業出荷指数の推移】



## 【鋳工業出荷の変動要因分解】



2024年10-12月期

前期比 (%)

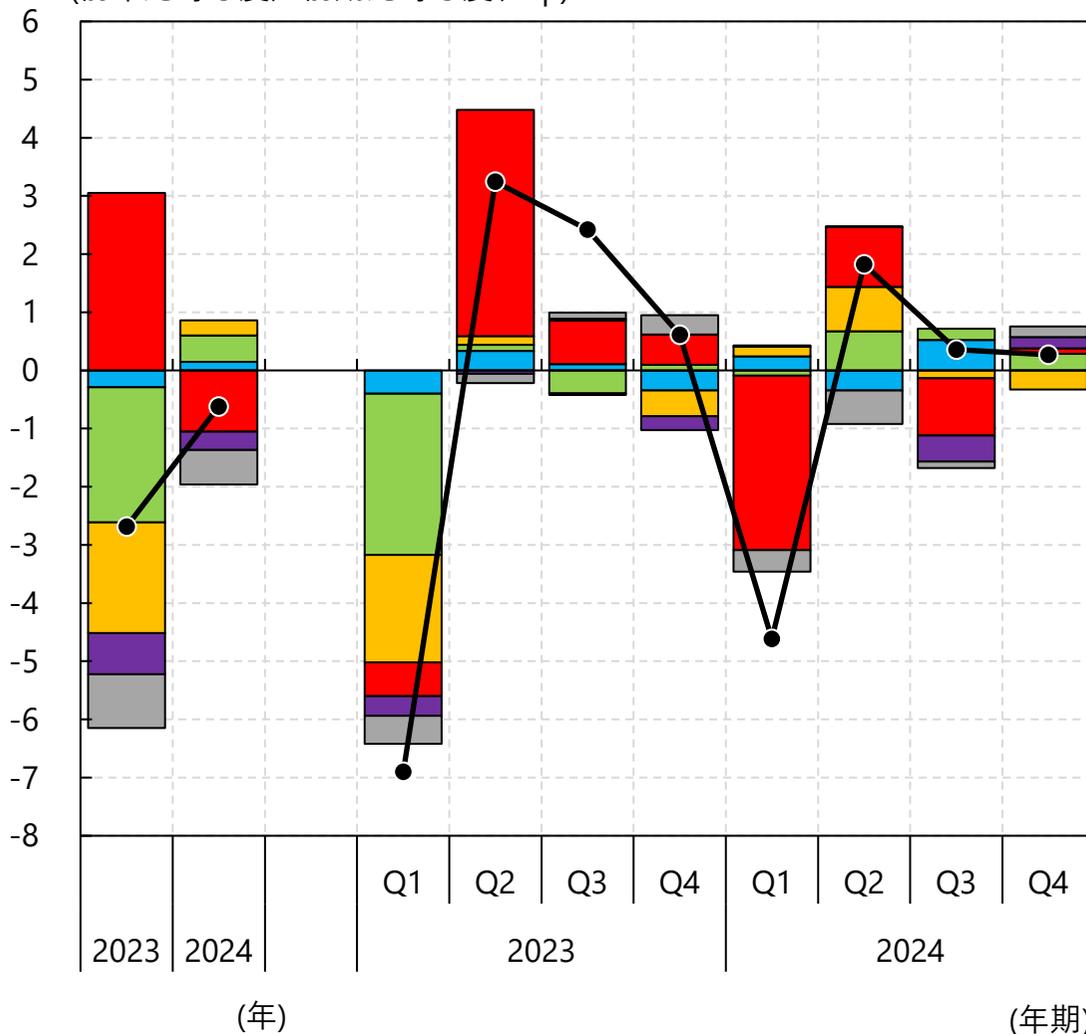
輸出向け出荷	0.3
国内向け出荷	0.7

資料：経済産業省「鋳工業出荷内訳表・総供給表」  
注：年は原指数、四半期は季節調整済指数により作成。

# 輸出向け出荷（鉱工業全体）の業種別変動要因分解

## 【輸出向け出荷（鉱工業全体）の業種別変動要因分解】

(前年比寄与度／前期比寄与度、%p)



- 鉱工業
- 輸送機械工業
- 生産用機械工業、汎用・業務用機械工業
- 電子部品・デバイス工業、電気・情報通信機械工業
- 鉄鋼・非鉄金属工業、金属製品工業
- 化学工業（除、医薬品）
- その他※

※窯業・土石製品工業、石油・石炭製品工業、プラスチック製品工業、パルプ・紙・紙加工品工業  
その他工業、鉱業が含まれる。

### 2024年10-12月期 上昇／低下に寄与した業種

上昇に寄与した業種	1位	生産用機械工業
	2位	石油・石炭製品工業
	3位	化学工業（除、医薬品）
低下に寄与した業種	1位	汎用・業務用機械工業
	2位	電子部品・デバイス工業
	3位	その他工業

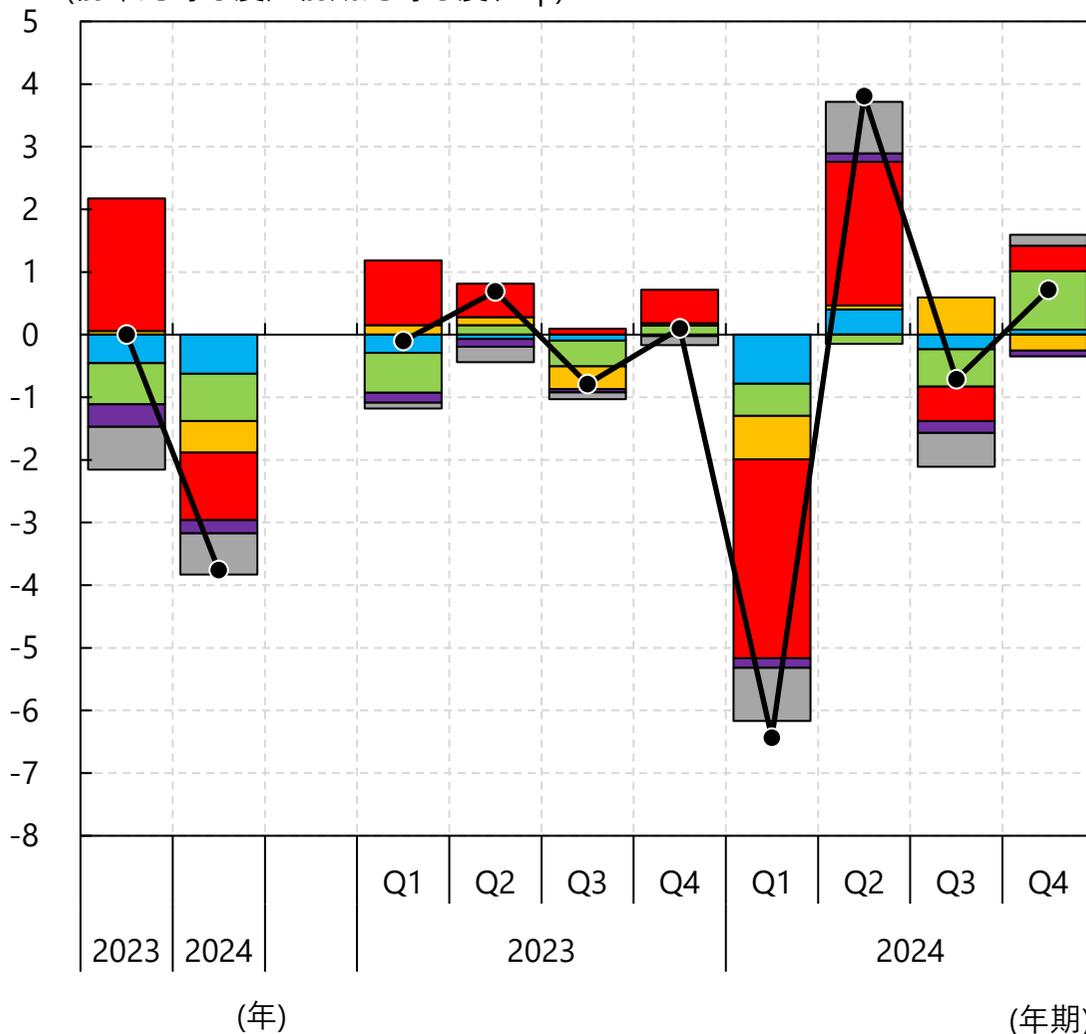
資料：経済産業省「鉱工業出荷内訳表・総供給表」

注：年は原指数、四半期は季節調整済指数により作成。季節調整済指数については、鉱工業全体と業種ごとの寄与度の合計は必ずしも一致しない。

# 国内向け出荷（鋳工業全体）の業種別変動要因分解

## 【国内向け出荷（鋳工業全体）の業種別変動要因分解】

(前年比寄与度／前期比寄与度、%p)



- 鋳工業
- 輸送機械工業
- 生産用機械工業、汎用・業務用機械工業
- 電子部品・デバイス工業、電気・情報通信機械工業
- 鉄鋼・非鉄金属工業、金属製品工業
- 化学工業（除、医薬品）
- その他※

※窯業・土石製品工業、石油・石炭製品工業、プラスチック製品工業、パルプ・紙・紙加工品工業  
その他工業、鋳業が含まれる。

### 2024年10-12月期 上昇／低下に寄与した業種

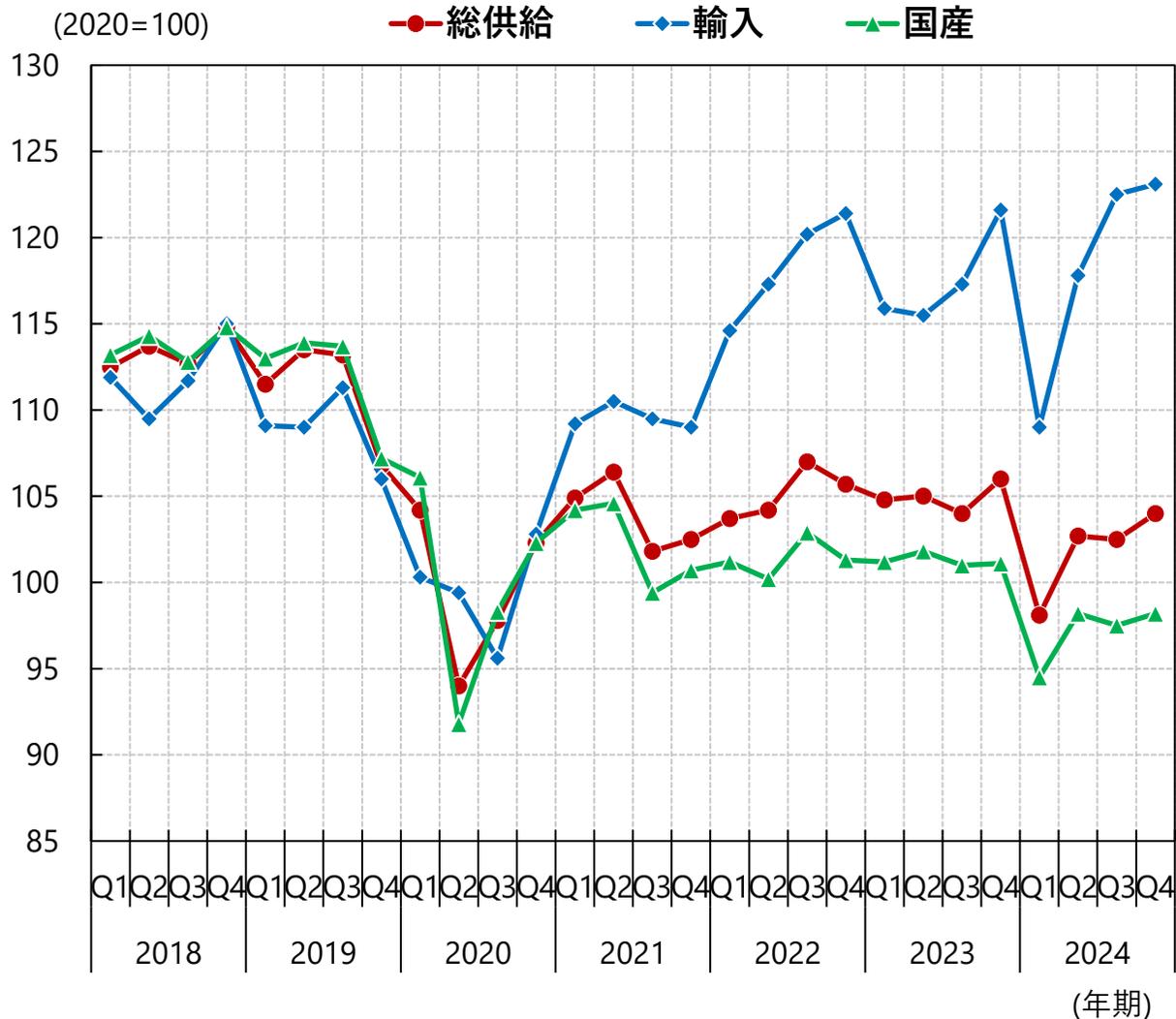
上昇に寄与した業種	1位	生産用機械工業
	2位	輸送機械工業
	3位	電気・情報通信機械工業
低下に寄与した業種	1位	電子部品・デバイス工業
	2位	化学工業（除、医薬品）
	3位	パルプ・紙・紙加工品工業

資料：経済産業省「鋳工業出荷内訳表・総供給表」

注:年は原指数、四半期は季節調整済指数により作成。季節調整済指数については、鋳工業全体と業種ごとの寄与度の合計は必ずしも一致しない。

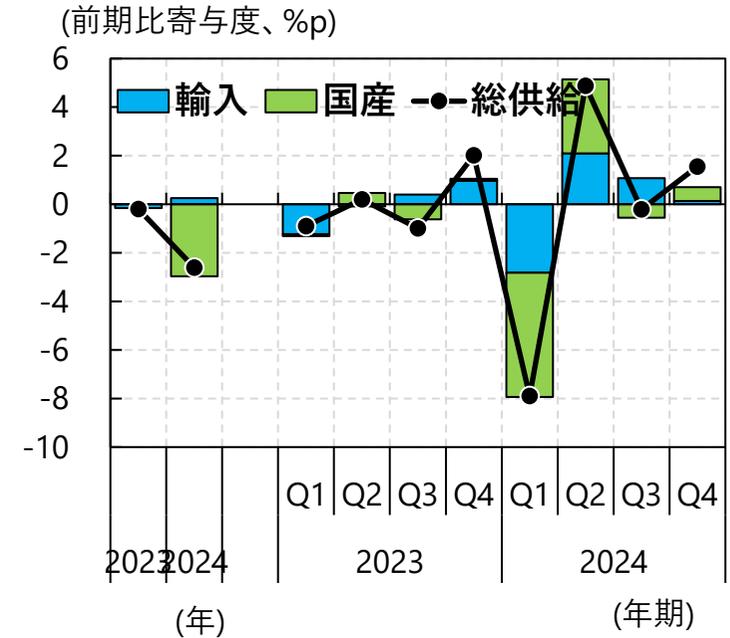
# 鋳工業総供給の動向

## 【鋳工業総供給指数の推移】



資料：経済産業省「鋳工業出荷内訳表・総供給表」  
 注：年は原指数、四半期は季節調整済指数により作成。

## 【鋳工業総供給の変動要因分解】



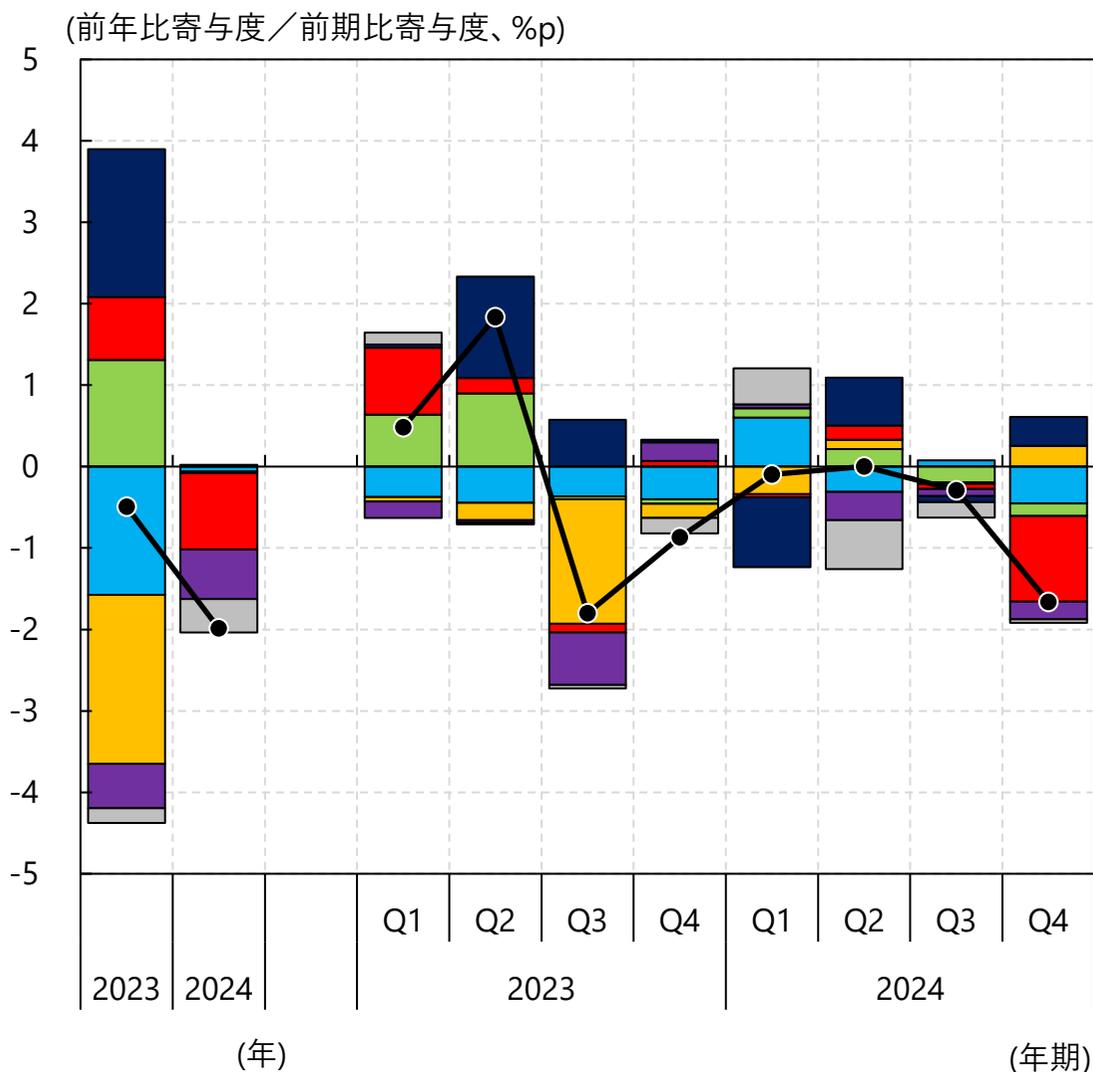
2024年10-12月期

前期比 (%)

総供給	1.6
輸入	0.5
国産	0.7

# 鋳工業在庫の業種別変動要因分解

## 【鋳工業在庫の業種別変動要因分解】



- 鋳工業
- 自動車工業、輸送機械工業 (除、自動車工業)
- 生産用機械工業、汎用・業務用機械工業
- 電子部品・デバイス工業、電気・情報通信機械工業
- 鉄鋼・非鉄金属工業、金属製品工業
- 無機・有機化学工業、化学工業 (除、無機・有機化学工業)
- 食料品・たばこ工業
- その他※

※窯業・土石製品工業、石油・石炭製品工業、プラスチック製品工業、パルプ・紙・紙加工品工業  
その他工業、鋳業が含まれる。

### 2024年10-12月期 上昇／低下に寄与した業種

上昇に寄与した業種	1位	電気・情報通信機械工業
	2位	食料品・たばこ工業
	3位	汎用・業務用機械工業
低下に寄与した業種	1位	自動車工業
	2位	鉄鋼・非鉄金属工業
	3位	生産用機械工業

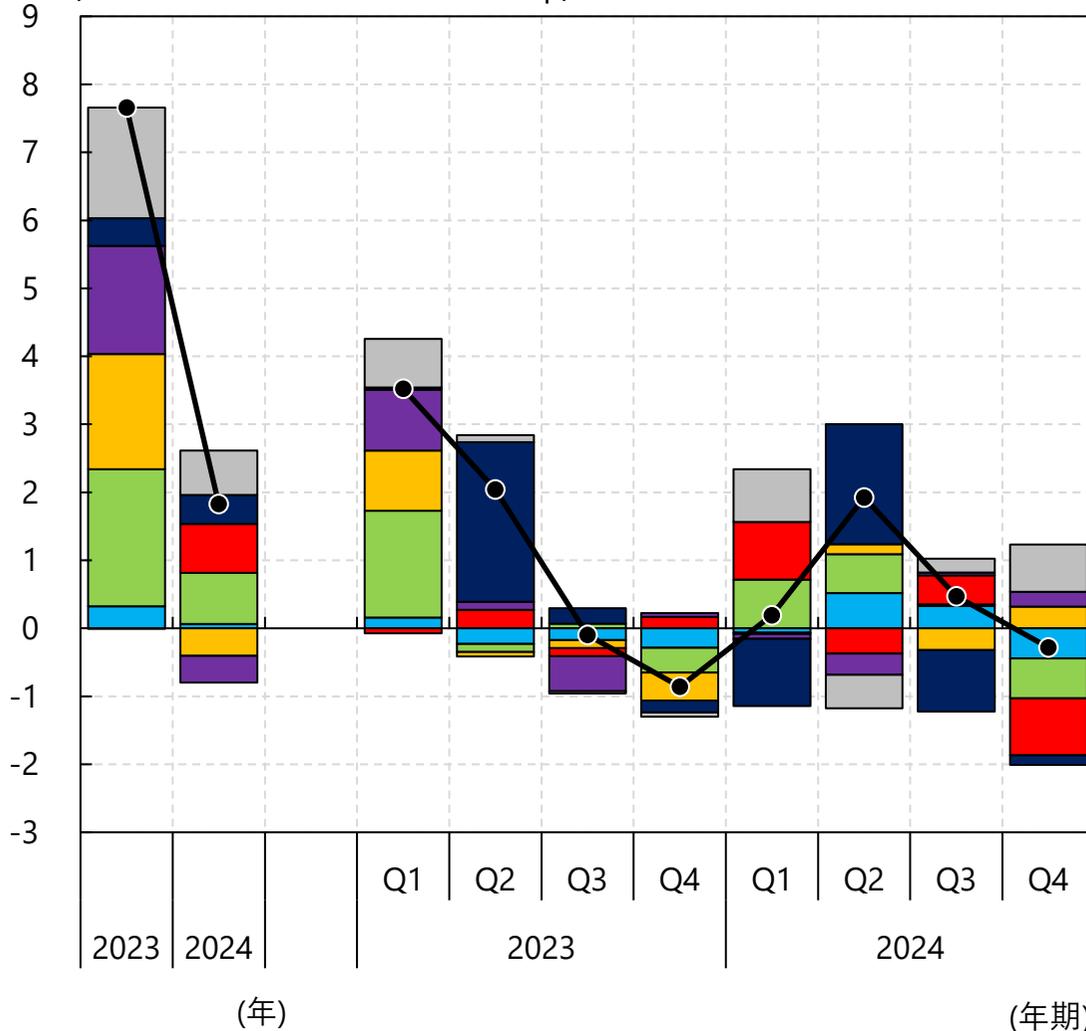
資料：経済産業省「鋳工業指数」

注：年は原指数、四半期は季節調整済指数により作成。季節調整済指数については、鋳工業全体と業種ごとの寄与度の合計は必ずしも一致しない。

# 鋳工業在庫率の業種別変動要因分解

## 【鋳工業在庫率の業種別変動要因分解】

(前年比寄与度／前期比寄与度、%p)



### ● 鋳工業

- 自動車工業、輸送機械工業 (除、自動車工業)
- 生産用機械工業、汎用・業務用機械工業
- 電子部品・デバイス工業、電気・情報通信機械工業
- 鉄鋼・非鉄金属工業、金属製品工業
- 無機・有機化学工業、化学工業 (除、無機・有機化学工業)
- 食料品・たばこ工業
- その他※

※窯業・土石製品工業、石油・石炭製品工業、プラスチック製品工業、パルプ・紙・紙加工品工業  
その他工業、鋳業が含まれる。

### 2024年10-12月期 上昇／低下に寄与した業種

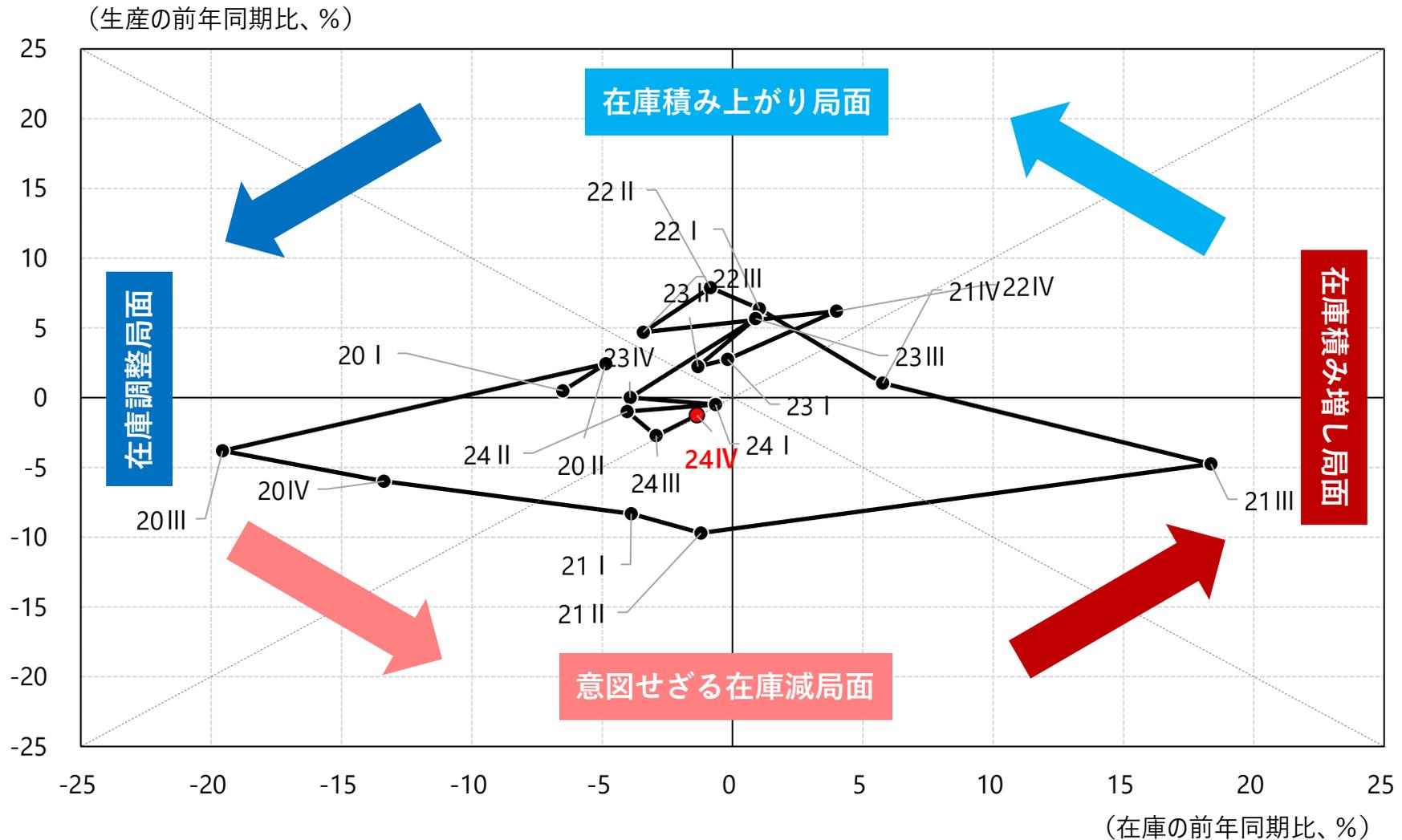
上昇に寄与した業種	1位	窯業・土石製品工業
	2位	電子部品・デバイス工業
	3位	化学工業 (除、無機・有機化学工業)
低下に寄与した業種	1位	自動車工業
	2位	生産用機械工業
	3位	鉄鋼・非鉄金属工業

資料：経済産業省「鋳工業指数」

注:年は原指数、四半期は季節調整済指数により作成。季節調整済指数については、鋳工業全体と業種ごとの寄与度の合計は必ずしも一致しない。

# 在庫循環の動き

【在庫循環図（鋳工業全体）】

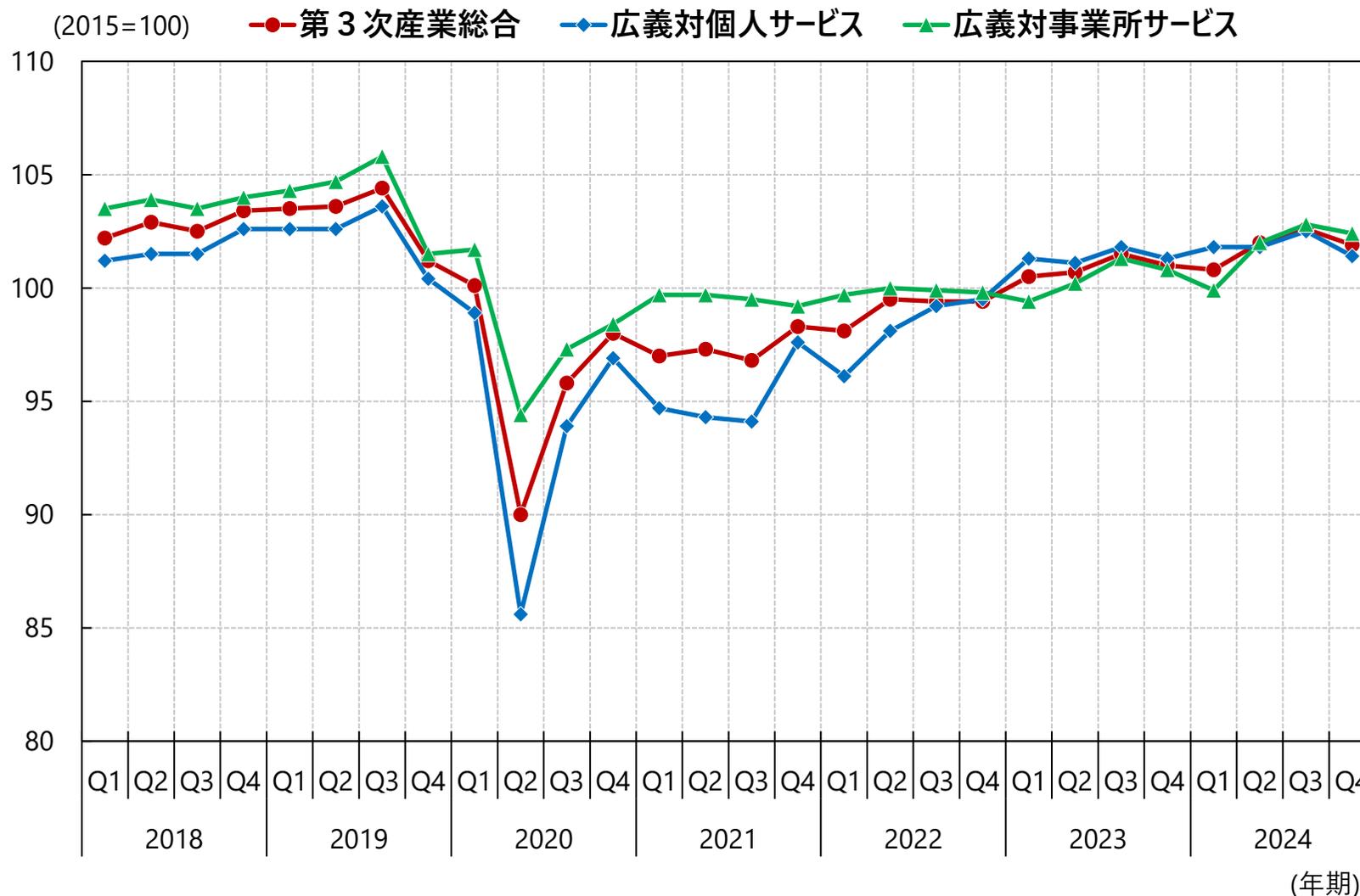


資料：経済産業省「鋳工業指数」  
注：原指数、在庫は期末値。

# 第3次産業活動の動向

# 第3次産業活動の動向

## 【第3次産業活動指数の推移】



2024年10-12月期

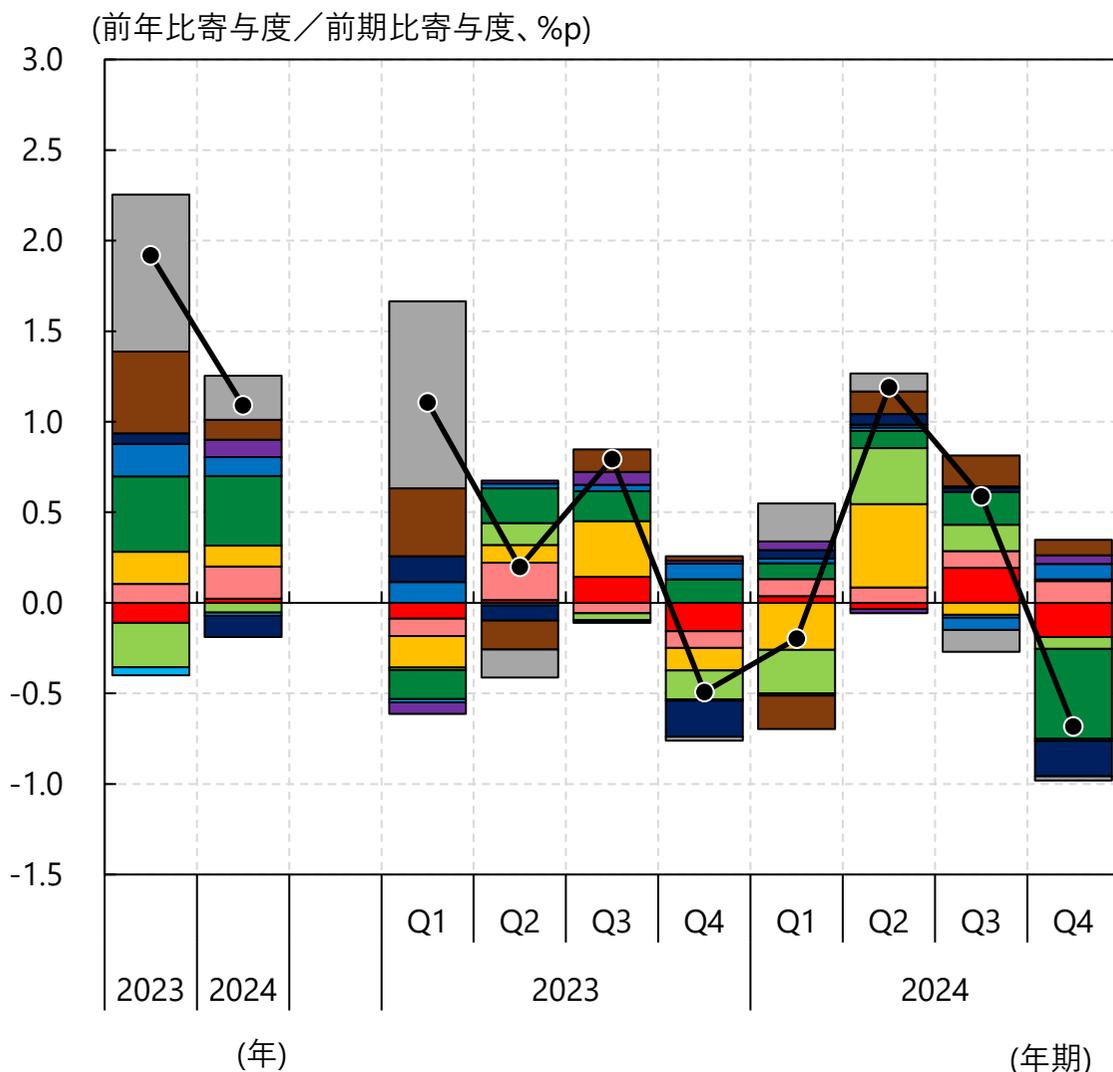
前期比(%)

第3次産業 総合	-0.7
広義対個人 サービス	-1.1
広義対事業所 サービス	-0.4

資料：経済産業省「第3次産業活動指数」  
注：季節調整済指数

# 第3次産業活動の業種別変動要因

## 【第3次産業活動の業種別変動要因分解】



- 第3次産業総合
- 電気・ガス・熱供給・水道業
- 情報通信業
- 運輸業、郵便業
- 卸売業
- 金融業、保険業
- 物品賃貸業 (自動車賃貸業を含む)
- 事業者向け関連サービス
- 小売業
- 不動産業
- 医療、福祉
- 生活娯楽関連サービス

### 2024年10-12月期 上昇／低下に寄与した業種

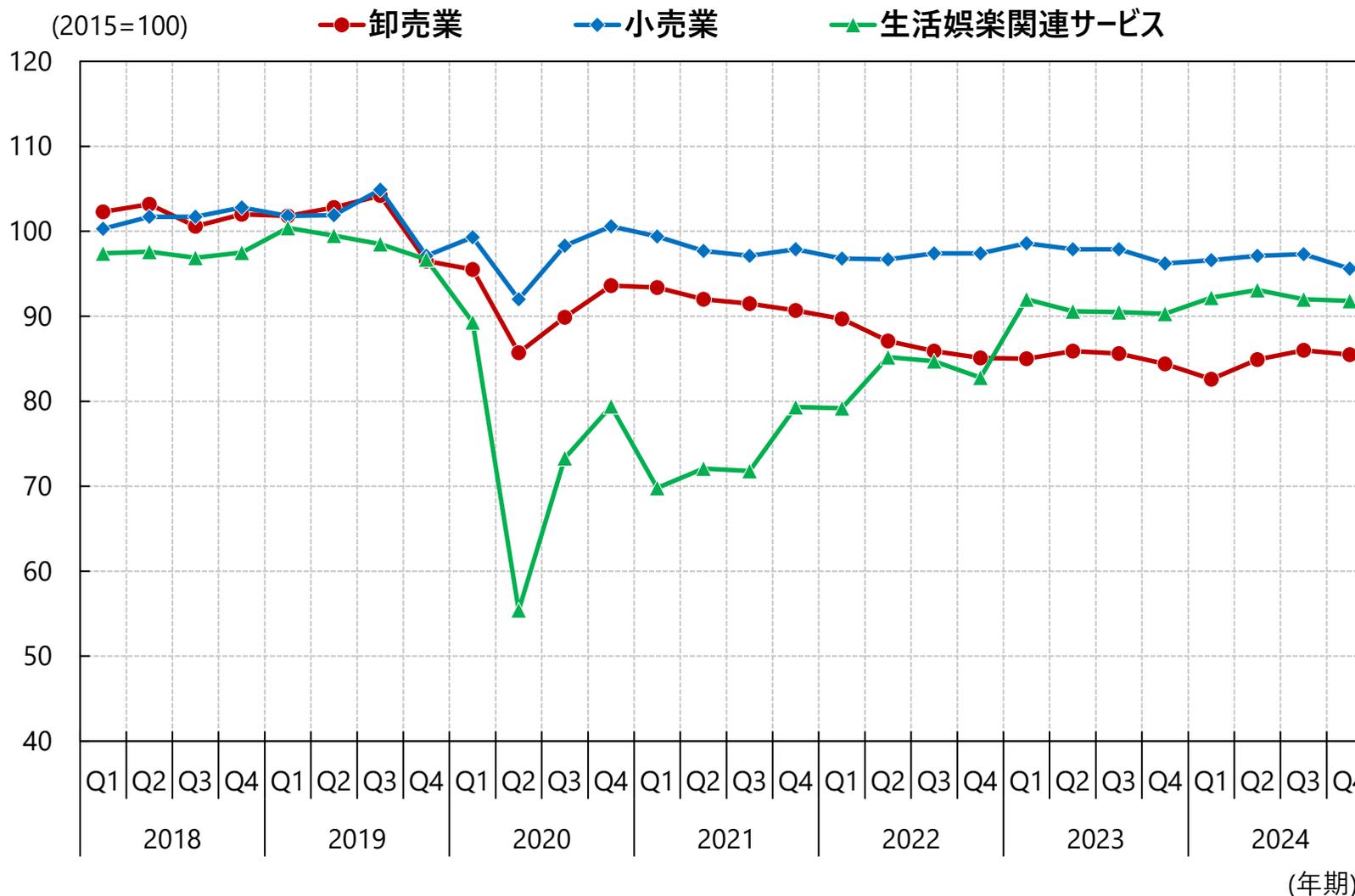
上昇に寄与した業種	1位	情報通信業
	2位	事業者向け関連サービス
	3位	医療、福祉
低下に寄与した業種	1位	金融業、保険業
	2位	小売業
	3位	電気・ガス・熱供給・水道業

資料：経済産業省「第3次産業活動指数」

注:年は原指数、四半期は季節調整済指数により作成。

# 卸売業、小売業、生活娯楽関連サービス業の動向

【卸売業、小売業、生活娯楽関連サービス業の活動指数の推移】



2024年10-12月期

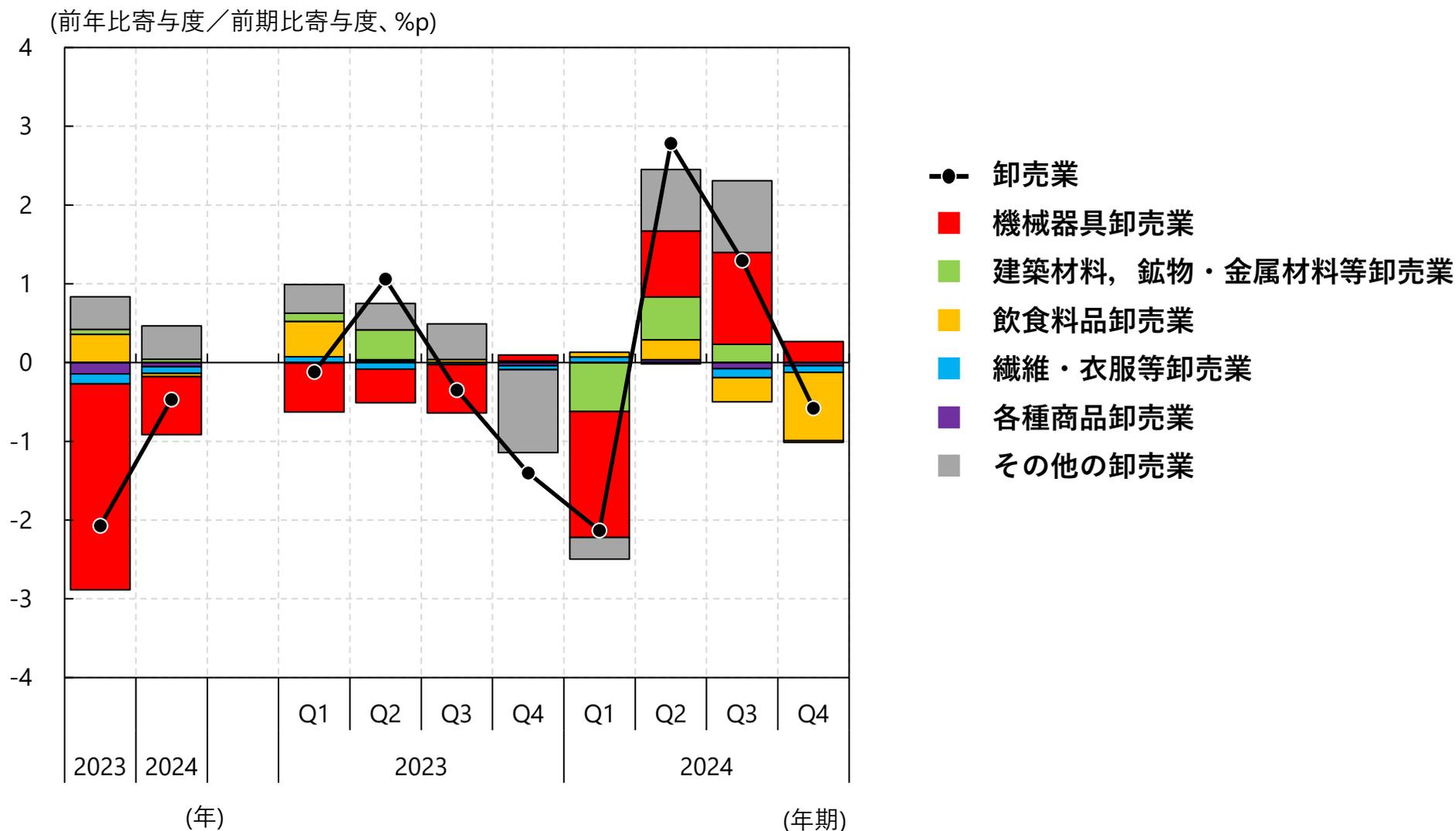
前期比(%)

卸売業	-0.6
小売業	-1.7
生活娯楽関連サービス業	-0.2

資料：経済産業省「第3次産業活動指数」  
注：季節調整済指数

# 卸売業活動の業種別変動要因

## 【卸売業活動の業種別変動要因分解】

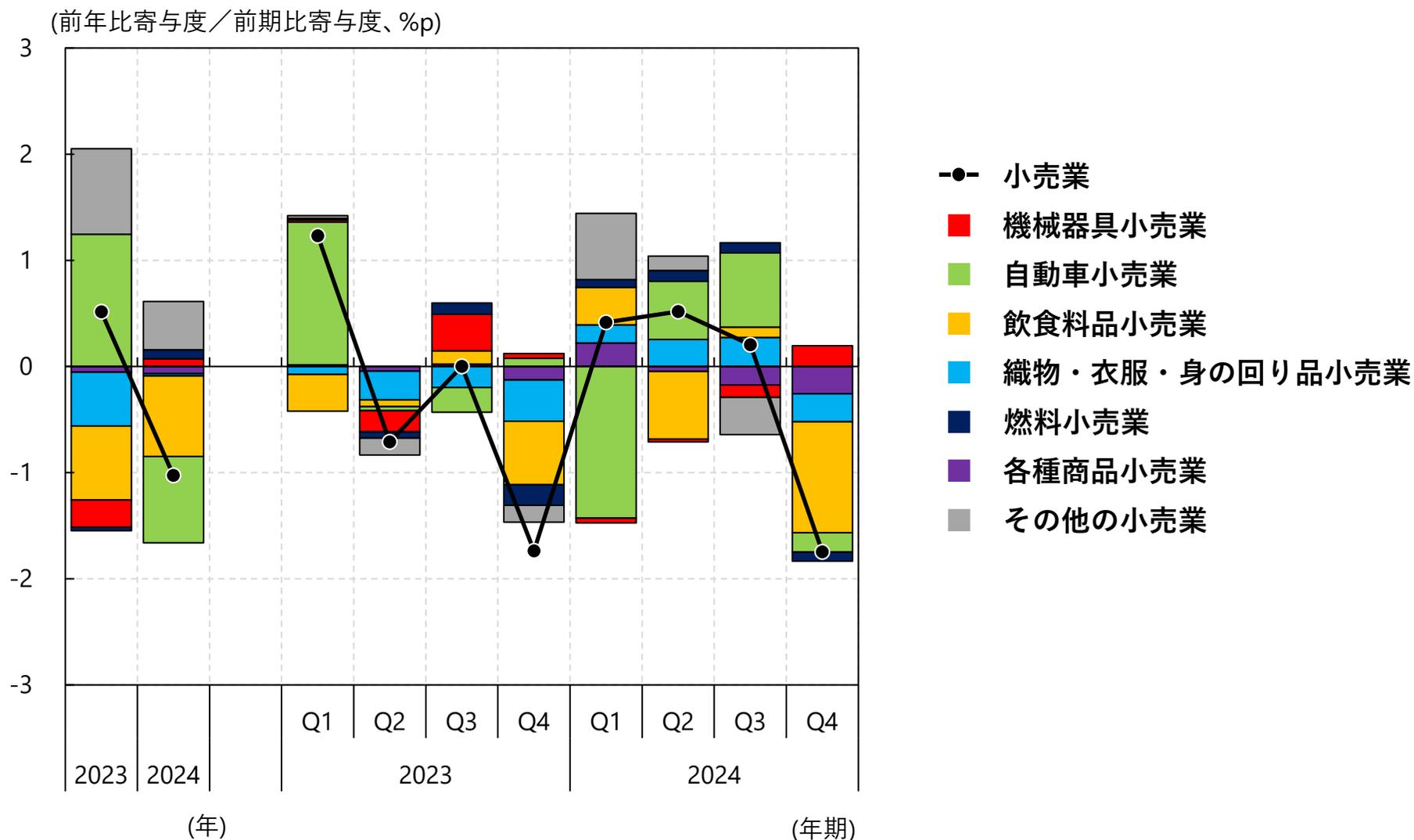


資料：経済産業省「第3次産業活動指数」

注：年は原指数、四半期は季節調整済指数により作成。季節調整済指数については、卸売業全体と業種ごとの寄与度の合計は必ずしも一致しない。

# 小売業活動の業種別変動要因

## 【小売業活動の業種別変動要因分解】

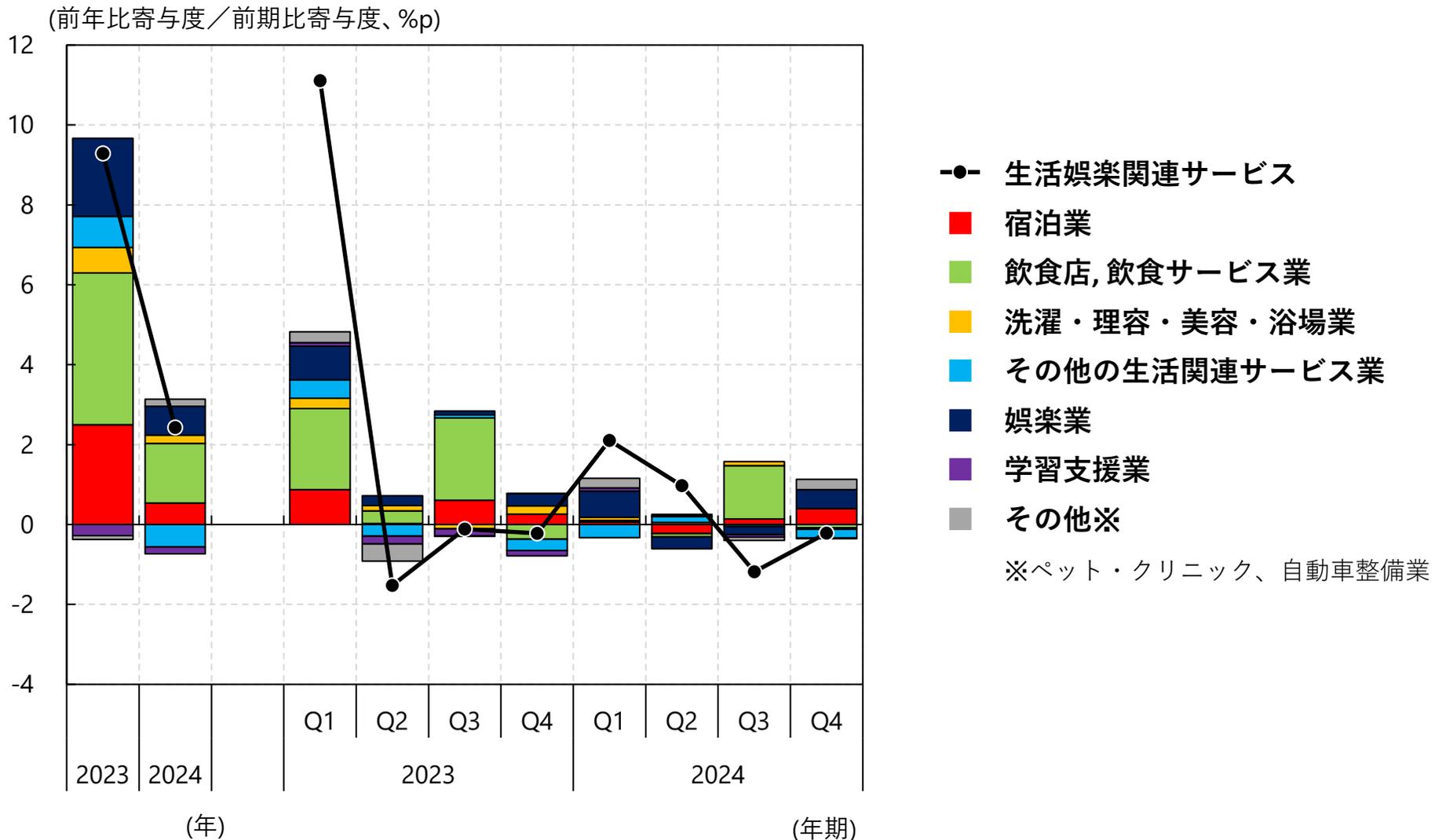


資料：経済産業省「第3次産業活動指数」

注：年は原指数、四半期は季節調整済指数により作成。季節調整済指数については、小売業全体と業種ごとの寄与度の合計は必ずしも一致しない。

# 生活娯楽関連サービス活動の業種別変動要因

## 【生活娯楽関連サービス活動の業種別変動要因分解】



資料：経済産業省「第3次産業活動指数」

注:年は原指数、四半期は季節調整済指数により作成。季節調整済指数については、生活娯楽関連サービス全体と業種ごとの寄与度の合計は必ずしも一致しない。

# 鉦工業及び第3次産業活動の基調判断

# 鉱工業及び第3次産業活動の基調判断

	鉱工業生産	第3次産業活動
2022年1月	生産は持ち直しの動きがみられる	一部に足踏みがみられるものの、持ち直しの動き
2022年2月	〃	足踏みがみられる (↓)
2022年3月	〃	持ち直しの兆しがみられる (↑)
2022年4月	生産は足踏みをしている (↓)	持ち直しの動き (↑)
2022年5月	生産は弱含み (↓)	持ち直し傾向にある (↑)
2022年6月	生産は一進一退 (↑)	〃
2022年7月	〃	〃
2022年8月	生産は緩やかな持ち直しの動き (↑)	〃
2022年9月	〃	〃
2022年10月	生産は緩やかに持ち直しているものの、一部に弱さが見られる (↓)	〃
2022年11月	生産は弱含み (↓)	〃
2022年12月	〃	〃
2023年1月	〃	〃
2023年2月	〃	〃
2023年3月	生産は緩やかな持ち直しの動き (↑)	〃
2023年4月	〃	〃
2023年5月	〃	持ち直している (↑)
2023年6月	〃	〃
2023年7月	生産は一進一退 (↓)	〃
2023年8月	〃	〃
2023年9月	〃	〃
2023年10月	〃	足踏みがみられる (↓)
2023年11月	〃	〃
2023年12月	〃	〃
2024年1月	生産は一進一退ながら弱含み (↓)	〃
2024年2月	〃	持ち直しの兆しがみられる (↑)
2024年3月	〃	一進一退 (↓)
2024年4月	〃	〃
2024年5月	〃	〃
2024年6月	〃	〃
2024年7月	生産は一進一退 (↑)	〃
2024年8月	〃	〃
2024年9月	〃	〃
2024年10月	〃	〃
2024年11月	〃	〃
2024年12月	〃	〃